

エリアウェーブ

峡東教育事務所 教育支援スタッフ (地域教育担当)

Tel 0553-20-2731 Fax 0553-20-2733 Mail kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp

主な記事

- ・ 峡地連「子育て講演会」
- ・ 峡東地域の諸活動
- ・ 峡東地域小学校中学校
体育行事結果
- ・ 教育事務所からのお知らせ



7月7日「子育て講演会」の様子

7月7日(木)に峡東地域教育推進連絡協議会(峡地連)は、いちのみや桃の里ふれあい文化館多目的ホールにおいて「総会・子育て講演会」を開催しました。以下は講演内容の要旨です。

1. お話したいこと

- ① 職場で一生懸命頑張っているのに、自己肯定感が極端に低い方がいる。うつ病や自殺企図にまで追いつめられる方がいる。
- ② 皆さん一様に、過大な期待を押し付けられて育った方達で大人になっても頑張り続け、認められようと苦しんでいた。(事例紹介)
- ③ 児童相談事例についても、親子の愛着不全の解決が問題解消に重要であった。キーワードは「甘えなおし」。
- ④ 母性的養育が根本的に重要であり、愛されて育つことが生きていく力になる。
- ⑤ 母性的養育により愛着関係が確立すると、自己肯定感が育ち、健康な成長につながる。
- ⑥ 虐待はこの真逆の育ち方。脳をも「変形」させてしまう。
- ⑦ その治療には「心を込めた抱っこ」「親による誉め言葉」「相互のやり取り(「同調」)」が有効という。

2. 大人の不適応事例にみる自己肯定感の乏しさ

- ・ 親による過剰な支配
- ・ 5つのドライバー(駆り立てるもの)
- ・ 不完全である勇氣(アードラー派)
- ・ 極端な自己肯定感の低さは、愛されなかった結果と考えられる(「愛着障害」)
- ・ 愛着の傷を修復するための方法は「ある意味、赤ん坊時代からやり直すこと」

「幼い子供に戻ったように、駄々をこねたりして、親を困らせる。素直に甘えられないための行動である」。

「この時、支える側が、腹を立てて拒否、否定すると元の木阿弥。再度傷つけてしまうことになる」。

「反抗も肯定的にとらえることが大切」。「悪化ではない。回復の第一歩になる」。

しかし、このように親が機能できない場合は、臨時的愛着対象として、親に代わって、治療者、先生、先輩、仲間がその役割を担うこともある。

以下はスペースの関係でテーマのみを掲載します。詳細は後日配布する「講演録」をご覧ください。

3. 自己肯定感を育てるためには、「愛されている」実感を持てることが重要(「甘えなおし」が必要)
4. 母性的養育が「愛着」を形成し生きる力になる
5. 愛着の確立による心の成長(確立できない時の心の症状)
6. 虐待は、子どもの脳を「変形」させてしまう
7. 「変形」からの回復には、安心感(抱っこ・・・)と同調作業(キャッチボール・・・)が効果的

今回は会場とオンライン(Teams)をあわせて230名を超える方にご参加いただきました。次回は8月23日(火)の「保幼小中連携セミナー(公認心理師・一瀬英史氏)」になります。

スズラン群生地から深まる異校種・地域との交流

笛吹市立芦川小学校・山梨県立笛吹高等学校・笛吹市役所芦川支所

笛吹市芦川町のニホンスズランは標高約1300メートルの林に約200万株が自生しており、規模は東日本で最大とされています。現在は多くの観光客が訪れる人気のスポットとなっています。芦川小学校の児童は30年以上にわたり芦川町のニホンスズラン群生地の清掃活動を行っており、令和3年度からは群生地の生育環境保全に向けた調査を行っている笛吹高校植物研究部も参加しています。清掃活動はスズランの開花に合わせて例年5月中旬に計画され、本年度は5月20日に清掃が行われました。児童・生徒は咲き始めた可憐なスズランを見つけると「小さくてかわいい！」と声を上げるなど楽しい活動となりました。



地域の人々と協力して
スズラン畑の整備を行いました



高校生から小学生に受け継いでいきます

また、芦川小学校の活動は第34回山梨県緑化表彰において、他の模範となる活動を行っているとして認められ知事賞を受賞しました。笛吹高校植物研究部の研究「御坂山地スズラン群生地の保全」は第65回日本学生科学賞で1等入選を果たし、その調査結果をまとめた冊子は市内の小中学校にも配布されています。清掃活動の当日も高校生から小学生に向けて研究内容の説明が行われました。芦川のスズランを起点として、次世代を担う児童・生徒が協働し、持続可能社会へ貢献することを実感することができました。

「緑と水の森林ファンド」学校環境緑化モデル事業

笛吹市立一宮南小学校・甲州市立神金小学校

公益社団法人国土緑化推進機構からの助成金は「緑の募金」への募金により成り立っています。その助成金を活用し、令和3年度「緑と水の森林ファンド」学校環境緑化モデル事業による一宮南小学校の「命の池」完成記念式典が3月16日に、神金小学校の「前庭」の完成式典が5月2日に行われました。

一宮南小学校の「命の池」は学校ビオトープとして平成15年に完成しました。当時の6年生と担任の先生が中心となって作業を進めていたとのこと。記録には平成14年8月に給水設備を設置、平成15年6月に植栽工事が完了とあります。近年では給排水の設備の老朽化に伴い、水が涸れた状態が続いていました。また、さまざまな植物が混入し、自然の森林や草原の植生も損なわれ、自然に親しんだり観察などの学習を行ったりすることが困難となっていました。この度の再生事業において、苗木（クヌギ・コナラ）の植え付け・周辺の土の入れ替え、池の給排水設備配管工事及び復旧工事・観察路の整備が行われました。



再生された一宮南小の「命の池」



元気を取り戻した神金小の「イチョウ」

神金小学校のイチョウは「昔このイチョウに登った」など、地域の方々にとって小学校時代の思い出のシンボルと言える存在です。しかし、近年は枝が枯れるなど樹勢の衰えが心配されていました。そこで本事業では前庭の日当たりを悪くしていたサクラの伐採、イチョウの剪定と樹木医による診断、イチョウの根元を囲んでいた石の撤去等の対応を行いました。現在、青々とした葉を一面に茂らせています。また、撤去した石は前庭に移動し整備をすることで、地元の石切場から出た御影石を使った花壇も一層目を引くようになりました。

生まれ変わった池や庭に触れることで、子どもたちが自然に親しみながら緑を大切にすることを願っています。

投げるときのコツは「とん・とん・くる」

山梨市立山梨小学校・山梨県教育庁保健体育課



楽しみながら「投げること」に親しんでいく

可能性を実感することができました。また、講師の方から「子供が成長する環境として、時間・空間・仲間の3つの『間』と大人のひと手間、合わせて4つの『間』が大事です。」との助言もいただきました。この事業を通して、児童が日常生活でも積極的に多種多様な運動に親しむことにより、バランスのとれた体力向上につながっていくことを願っています。

5月30日に山梨小学校において、県教委主催「もっと楽しい体育授業で体力アップ！」事業が行われました。サブテーマの「～投げる運動を、授業で楽しみ、日常で親しむ～」を実感できる、児童の笑顔が終始見られる楽しい活動となりました。準備運動からふり回りまで工夫された内容で、総合型地域スポーツクラブ指導者・山梨県教育委員会の指導のもと、子供たちの集中力は最後まで途切れることはありませんでした。

投げる能力が短時間で成長していく姿を見て、あらためて子供たちの可能



「とん・とん・くる」のリズムが大切♪

「万力公園に大きな木は何種類？」

山梨市教育委員会生涯学習課・子ども科学教室支援会



同じ種類に色テープを巻き付けて確認する

も大切にしてほしいと感じました。（ちなみに記者は5種類と予想。正解は……。ぜひ公園に足を運んで、自分の目で確かめてみてください。大人も十分に楽しめます！）

また、クヌギの葉をスケッチした際に「地面から伸びる小さな芽は何からでているのかな？」との問いかけもありました。丁寧に根っこ付近を掘ってみると、小さな芽はクヌギのどんぐりから出ていることが分かりました。確認後に元通りに埋め返しましたが、意識しなければ足下にある小さな芽は視界に入ることはありません。小さなものに宿る「命の連鎖」に気づくことができる貴重な体験となりました。

6月25日に山梨市万力公園で小学生13人を対象に「子ども科学教室」が行われました。今回は（公財）日本自然保護協会自然観察指導員である植原彰さんが講師を務め、万力公園内の自然観察を行いました。外は初夏を思わせる厳しい暑さでしたが、一步森に入ると爽やかな風を感じることができました。植原さんから「この公園には空まで伸びていく大きな木は何種類あるのかな？」という問いかけがあり、子どもたちは思い思いの数を我先に答えていました。大人になると知識が増えてしまい間違えることを恐れがちですが、子どもたちの積極的な姿勢は「学びの土台」をつくるうえで重要なものとなりますので、これから



足下に目を配ると新たな発見がある



「人権への思い」バルーンとともに届け！！

甲州市立大藤小学校・甲州市人権擁護委員・甲州市市民課・山梨県人権啓発活動ネットワーク協議会



児童の思いを込めたバルーンが空高く昇っていく

5月31日に大藤小学校の全校生徒を対象に、人権の花運動「人権集会」が行われました。当初は雨が心配されましたが、開始時には雨もやみ爽やかな気候のもとでの会となりました。

令和4年度は山梨県人権啓発活動ネットワーク協議会の主催により、峡東地区では6小学校で「人権の花」贈呈式が行われます。人権の花運動は花の種子・球根などを児童等が協力して育てることを通じて、協力・感謝することの大切さを生きた教育として学び、生命の尊さを実感する中で人権尊重思想を育み、情操をより豊かなものにすることを目的としています。

大藤小では人権の花の贈呈後に児童の書いたメッセージカードと花の種子をつけたバルーンのリリースが行われ、児童は天高く登っていくバルーンが見えなくなるまで空を見上げていました。体育館で行われた人権集会では人権擁護委員の方から「命を大切にすること・仲間と仲良くすること」の重要性を教えてもらい、人権への意識が高まった一日となりました。



6年生が代表で「人権の花」を受け取りました

県外学習が再開されました！(^o^)

甲州市立大藤小学校・神金小学校・玉宮小学校



鉄ができるまでについて説明を聞きました

ここ数年コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった「県外学習」が再開されています。各校で感染症への対応を十分に行いながら、入念な準備のもとで実施をしています。

5月27日には神金小学校・大藤小学校・玉宮小学校3校の5年生17名がJFEスチール東日本製鐵所京浜地区、はまぎん こども宇宙科学館での校外学習を行いました。「百聞は一見にしかず」の言葉にあるように、幼い頃に自分の目で見た経験は一生の財産となるはずで



疑問は自分で調べてみるのが大事

す。将来日本の宇宙開発に携わる人材が生まれるきっかけになるかもしれません。この経験が中学校での「学びの種」になることを願っています。

AI解析のスマートグラスによる農業体験

甲州市立菱山小学校・山梨県農政総務課・峡東農務事務所



スマートグラスではとるべき粒が赤く光る

山梨県は令和4年度から小学生を対象に年間を通じて農業の現場を体験し、理解を深めてもらう事業「やまなし食農菜園教育モデル実践事業」を始めました。今年度は県内2校が対象となり、峡東地域では菱山小学校が近所の農家の園をかりてシャインマスカットの栽培に取り組んでいます。6月3日には種なしブドウをつくるためジベレリン処理、6月17日にはAI解析に基づき、



粒数などの情報も提示される

取り除くべき粒が表示される「スマートグラス（眼鏡型端末）」を装着した摘粒作業を行いました。まさに「未来の農業」に触れることで、児童にとっては非常に貴重な体験となりました。また、9月には収穫したブドウの加工、12月には果樹の剪定枝を炭にし、土壌に貯留して大気中の二酸化炭素排出を減らす取組の「4パーミル・イニシアチブ」を体験する予定です。小学生の頃からSDGsにつながる活動を体験することで、地域の特産品への愛着だけでなく環境保全への意識向上も期待されます。

「県立学校出前授業」による異校種連携

笛吹市立春日居小学校・県立笛吹高等学校（陸上部）



準備運動から「姿勢」を意識する

的的なアドバイスに児童は真摯に耳を傾けていました。楽しみながらも技術を向上することができ、小学生・高校生ともに充実した時間を過ごすことができました。6月14日の陸上記録会で上位入賞をした児童からは「腕の振り方と足の上げ方が非常に参考になりました！」との感謝の言葉が聞かれました。

6月9日に春日居小学校において、笛吹高校の陸上部顧問・生徒6名による陸上競技の指導が行われました。これは異校種連携を目的とした「県立学校出前授業」事業を活用したものです。令和3年度はコロナ禍ではありましたが、県立学校の協力により、のべ28回（講師33名）の出前授業が実施されました。

当日は6年生の児童63名を対象に、陸上記録会に向けて種目別の練習を行いました。高校生自らがお手本となつての実践



高校生に全力でついていく

「桃花ダイスキマーケット」で地域交流

県立高等支援学校桃花台学園



6月はかたつむりパンが季節限定

6月3日に行われたダイスキマーケットには地域の方や保護者が多く訪れました。生徒がつくったパン・焼き菓子・野菜の素朴な味にファンも多く、かなりの方がリピーターとのことで、販売された商品は次々と買い求められていました。生徒たちのおもてなしの心が来場者に届き、あたたかい地域交流となりました。

6月3日に行われたダイスキマーケット



多くの注文に大忙しです(^^)

東山梨・笛吹 小学校陸上記録会

6年生の陸上記録会、今年度は東山梨地区が5月17日（火）に塩山総合グラウンドで、笛吹地区が6月14日（火）にJITリサイクルインクスタジアムで開催されました。練習の成果を発揮し、走り、投げ、跳んで記録の更新を目指して競技に挑んでいました。競技前の緊張した児童たちに応援する児童たちの心のこもった大きな拍手が何よりも力となりました。陸上記録会をとおして学んだことをこれからの学校生活に生かしていって欲しいです。

【4×100mリレー 結果】

順位	東山梨地区		笛吹地区	
	男子	女子	男子	女子
1位	塩山南	加納岩	御坂西	春日居
2位	日下部	日下部	石和北	御坂西
3位	後屋敷	井 尻	富士見	一宮西
4位	塩山北	奥野田	春日居	一宮南
5位	&日川	東 雲	境 川	富士見
6位	東 雲	勝 沼	石和西	石和南



峡東地域内中学校総合体育大会

東山梨中学校総合体育大会および笛吹市中学校総合体育大会が6月8日(水)・11日(土)・18日(土)に開催されました。また、東山梨中学校総合体育大会陸上競技大会が6月20日(月)に、笛吹市中学校競技大会が6月21日(火)に開催されました。日々の練習の積み重ねのもと、生徒は全力を取り組んでいました。また、日頃応援してくれている家族や指導してくれる先生方への感謝の気持ちを胸に、素晴らしいパフォーマンスを見せていました。



【各競技の優勝校】

種目	東山梨地区		笛吹地区	
	男子	女子	男子	女子
野球	山梨北	—	石和	—
サッカー	山梨南	—	— 宮	—
フットボール	—	塩山	—	—
バスケットボール	塩山	山梨南	浅川	御坂
バレーボール	塩山	山梨南	御坂	御坂
卓球(団)	山梨南	山梨南	浅川	— 宮
ソフトテニス(団)	山梨南	塩山	— 宮	御坂
剣道(団)	塩山北	塩山	— 宮	石和
柔道(団)	塩山	—	浅川	御坂
ハンドボール	山梨北	山梨北	—	—
バドミントン	勝沼	勝沼	—	—
弓道(団)	—	—	石和	石和
体操(個)	—	—	石和	石和
陸上(共) (4×100mR)	山梨北	山梨北	石和	石和

峡東教育事務所からのお知らせ

- 7月7日(木)に実施されました峡東地域教育推進連絡協議会総会において、今年度の役員案、事業計画案が了承されました。今年度の役員は以下のとおりです。

会長 望月 栄一 氏 (笛吹市教育委員会 教育長)	
副会長 角田 弘樹 氏 (山梨市生涯学習課 課長)	副会長 中村 雅彦 氏 (東山梨教育協議会 会長)
副会長 蘆田 俊哉 氏 (笛吹市教育協議会 会長)	副会長 木村 則夫 氏 (県立ろう学校 校長)
参与 廣瀬 学 氏 (峡東教育事務所 所長)	参与 霜村 文晴 氏 (峡東教育事務所 副所長)

- 次回の峡地連主催講演会は、山梨市教育委員会との共催『保幼・小・中連携セミナー』です。8月23日(火)午後3時から山梨市民会館ホールにおいて、公認心理師 一瀬 英史 先生による『発達段階に応じた俺たちへの接し方 ～クソガキ問のすゝめ～』をテーマに講演を行います。ぜひ、御参加ください。
 - エリアウェブに取り上げてもらいたいことを募集しています。共有したい情報や、教育事務所へ要望などがありましたら、随時ご連絡ください。

PDF版をご覧ください

『エリアウェブ』はPDFのカラー版を峡東教育事務所のホームページで掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開けます。是非ご覧ください。

ホームページアドレス
<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/chiiki/backnumber.html>



エリアウェブ
ホームページ

ご意見をお寄せください

『エリアウェブ』のご意見・ご感想・取材情報をスタッフ一同お待ちしております。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙上部の連絡先にご連絡ください。

E-mail アドレス
kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp



お問い合わせ

